

# やまぶき

大田市立大森小学校  
学校だより No. 340

発行日 令和6年2月22日  
文責 校長 橋井泰治

## なかよし集会・PTA 人権教育研修会 1/19

なかよし集会では、子どもたち一人一人が考えた人権標語と、生活委員会による性のとらえ方に関する紙芝居を発表しました。その後、縦割り班に分かれ、男の子だから、女の子だからといった偏った考え方の問題点について意見を交換しました。



集会に引き続き PTA 研修部主催の人権教育研修会を開催しました。LGBT 講師・コーチ 佐藤 みどり さんから「自分らしさってなんだろう？」



をテーマにご講演いただきました。佐藤さんの生い立ちに併せ、ご自身の「性」をどのように感じてこられたのか話していただきました。先生や友だち、家族へのカミングアウトの際に、優しい言葉を受けて心が救われたという貴重な経験談も聴かせていただきました。悩んでおられる方をありのままに受け入れてあげる大切さに改めて気づく機会となりました。また「自分の『好きなこと』『気持ち』を大切にしてい

あげる」「自分に無いところではなく、自分にあるところを見てあげる」「どんな自分にも OK を出す」など、自分らしく生きるための具体的な考え方も教えていただきました。いたわりの声をかけながら、自身を優しく抱きしめる体験もあり、会場は終始温かい雰囲気になっていました。



ご講演後、校長室にてお話をさせていただきました。その中で、この数年、性の多様性に係わる社会の意識が大きく変わりつつあり驚いていると話しておられました。およそ 10 人に 1 人の方が何らかの性的マイノリティを抱えておられるという統計データも公開されています。

【「電通グループ LGBTQ+調査 2023」LGBTQ+当事者層 9.7%】

本校の教育活動も、多様性を踏まえた当たり前の対応ができているのか確認していきたいです。

### <感想から>

[3・4 年児童]体は女性でも心は男性、それもぼくにとってはおかしくないと思います。そのことで自分が好きなことができなくなる辛さに気が付きました。

[保護者]LGBT とはよく耳にするけれど、知らなかったことがほとんどで、とても興味深く勉強になりました。今日、講演を聴いて本当に良かったです。LGBT といっても、本当に人それぞれという事もよく分かりました。子育ての上で、性に対する教育は本当に難しくもあり、とても大切なことだと思っています。

## ぎんざんテレビ訪問 (高学年) 1/30



高山小の友だちと一緒に訪問しました。放送ブース見学やアナウンサー体験を行いました。普段何気なく見ている放送番組ですが、たくさんの方々のお力によって制作されていることを理解できました。

## スキー教室 2/2

琴引フォレストパークスキー場にてスキー教室を開催しました。指導講師の方から、コントロールするためにひざを使って板をハの字の形にしたり、上半身でバランスをとったりする方法を教えてくださいました。上の学年は、これまでの経験をいかしリフトに乗って颯爽と滑っていました。乗り慣れず苦勞していた 1 年生も、最後には「もっと滑りたい」と話していました。満喫できた楽しい時間となりました。



## 福祉教育 (中学年) 2/9・14



総合的な学習の時間に大田市社会福祉協議会の方々や手話通訳者の竹下さん、渡辺さん(聴覚障がい)、瓜阪さん(視覚障がい)にお越しいただきました。どのような生活をしておられるのかお話を伺ったり、実際に体験したりしました。子どもたちは熱心にメモをとっていました。障がいの有無に関わらず誰もが安心して暮らせる社会について考えることができました。

## 一日入学 (低学年) 2/14



来年入学予定の園児さんをお迎えし、1 日入学を開催しました。これまで低学年が中心となって計画を進めました。特に 1 年生は、後輩ができることもあり、はりきっている様子もみられました。楽器演奏や、手作りおもちゃを用いたお店屋さん遊びなど、日頃の学びをいかし活動することができました。4月に新入生をしっかり迎えられよう準備を進めていきたいと考えています。

日	曜	3月の主な行事
1	金	6年生を送る会
4	月	児童総会
5	火	ミニ愛護団活動
15	金	式会場準備
18	月	卒業証書授与式 ※給食なし
22	金	修了式 離任式 ※給食なし